

経営比較分析表／団体全体（令和4年度決算）

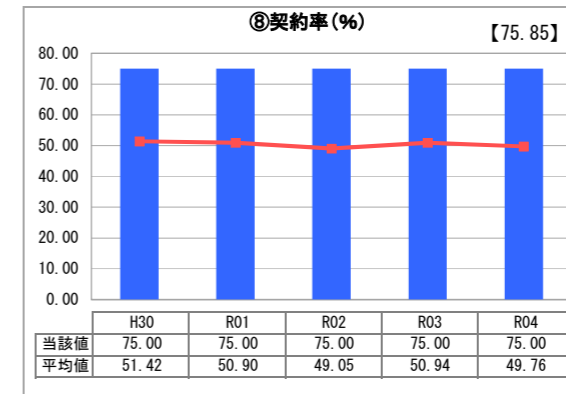
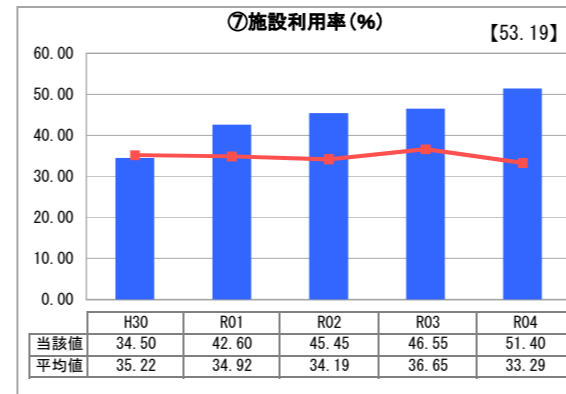
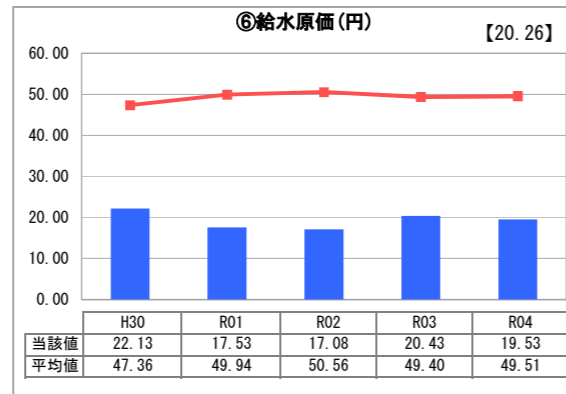
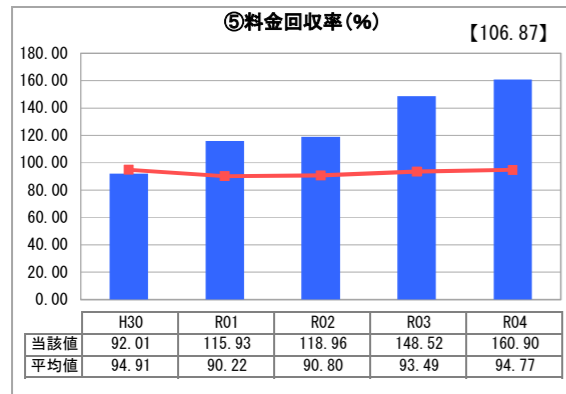
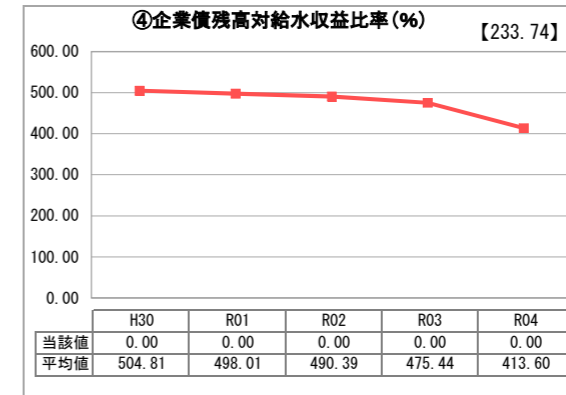
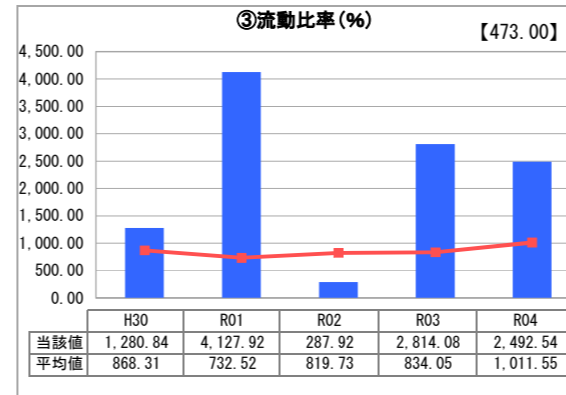
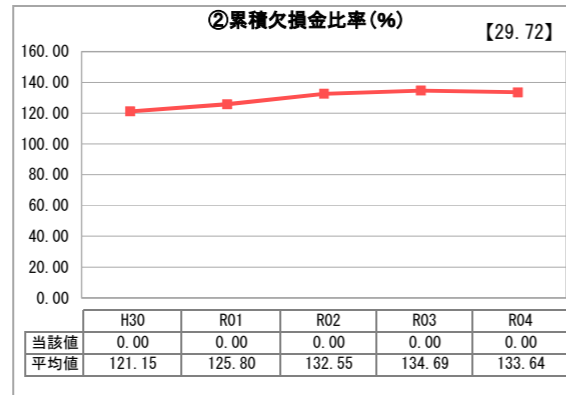
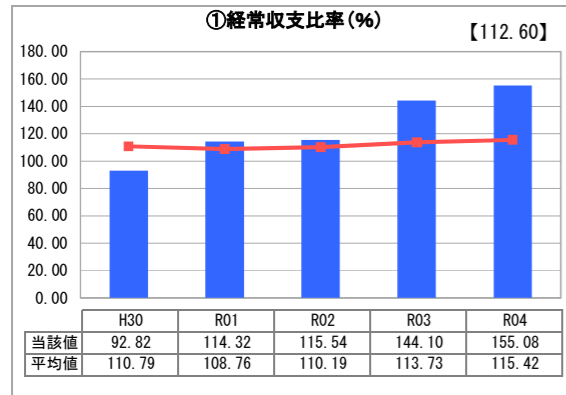
宮崎県 宮崎市
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	2,000	極小規模	1	1,028
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	98.2	2	1,500	自治体職員	

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

● 経営の健全性について
令和3年度の料金改定により給水収益が増加し①「経常収支比率」、⑤「料金回収率」ともに100%を上回り、類似団体や全国平均より高くなっています。累積欠損金、企業債残高がなく、支払能力も十分な水準にあります。

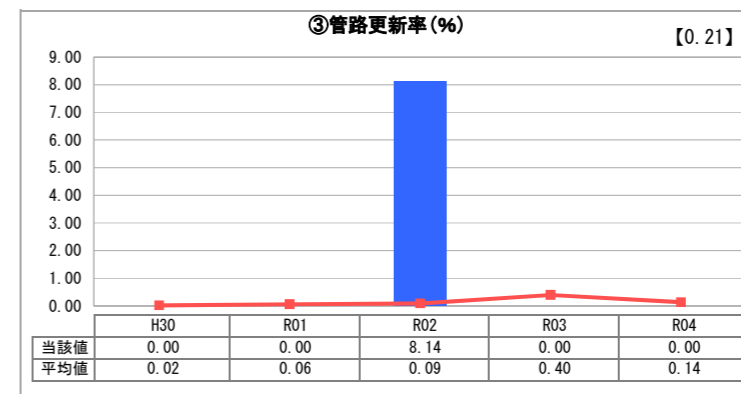
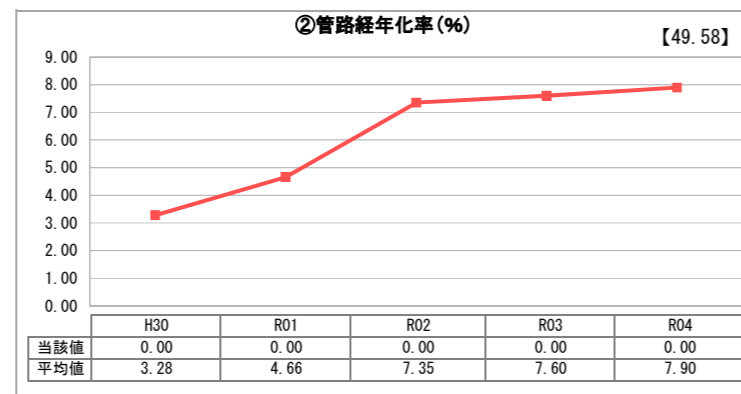
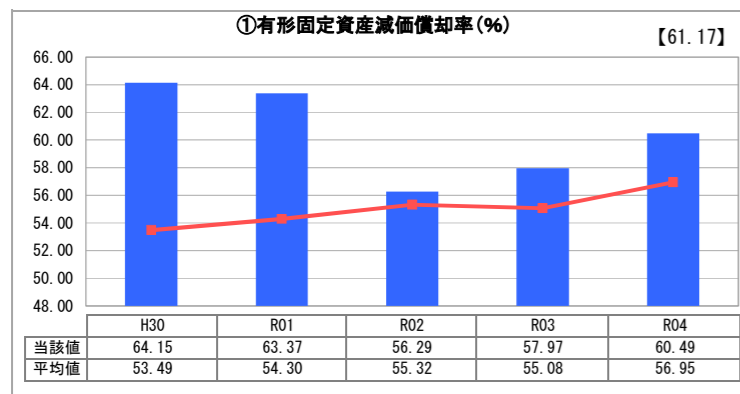
● 効率性について
⑥「給水原価」については、年間総有収水量の増加により前年度よりやや減少しました。
⑦「施設利用率」については、1日平均配水量が前年度より増加し高くなりました。類似団体平均よりも費用と施設の効率性が高いといえます。

2. 老朽化の状況について

① 令和2年度の老朽化施設の更新により一度改善した「有形固定資産減価償却率」は、その後徐々に上昇し、類似団体平均より高く、全国平均よりやや低い状況です。今後も、事業開始から30年以上を経過し、老朽化が進んでいる施設について、現在の経営状況を維持しつつ、重要性等を考慮しながら計画的な更新を行う必要があります。

② 「管路経年化率」と③ 「管路更新率」については、法定耐用年数(40年)を経過した管路がないことから「0」(ゼロ)となっております。事業開始時に整備した管路が更新を迎える時期に備え、アセットマネジメントの手法を活用し、計画的・効率的な更新を進めてまいります。

2. 老朽化の状況



全体総括

引き続き、受水企業の需要に応じた安定的な給水を行うため、令和3年度の料金改定により確保した財源を施設等の老朽化対策及び耐震対策に計画的・効率的に投じ、事業を行ってまいります。